

東芝 CD ラジオカセットレコーダー 取扱説明書

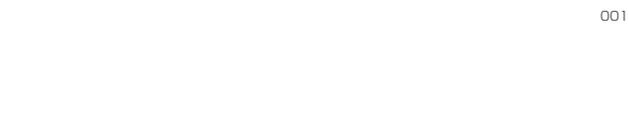
形名

TY-CDS7 / TY-CDH7



- 日本国内専用
Use only in Japan
- このたびは CD ラジオカセットレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、必要なときすぐに取り出せるように大切に保管してください。

保証書付
●保証書はこの取扱説明書に付いていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。



持込修理品		東芝CDラジオカセットレコーダー保証書	
形名	TY-CDS7 / TY-CDH7	※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。	様
お名前	おのり		
お客様ご住所	〒□□□-□□□□		
市外	市内	番号	呼
本	1年	★お買い上げ日	
体		□□年□□月□□日から	
★ご販売店	住所・店名		
	電話		

東芝エリートレーティング株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野2-21-10(東芝上野ビル)

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。

また本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

- 保証期間内で次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
 - (ハ) 火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
 - (ニ) 本書のご提示がない場合。

東芝エリートレーティングサポートセンター ☎0120-28-0488 受付時間：365日 9:00～20:00 携帯電話・FAX：050-3786-0488（通話料：有料） FAX：03-3258-0470（通話料：無料）	※お客様がご提供いただいた個人情報には、お客様のご購入の記録、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。 ※利用目的の範囲内で、当該製品に関する東芝グループ各社が各自が目的にお客様の個人情報を提供する場合があります。
---	--

東芝エリートレーティング株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野2-21-10(東芝上野ビル)

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明			
警告	“死亡または重傷を負うことが想定されること”を示します。	注意	“軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されること”を示します。
図記号の説明			
禁止	してはいけないこと（禁止）を示します。	指示	しなければならぬこと（指示）を示します。

もし異常が起こったら

警告	●異常・故障時には、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く（異常・故障例） <ul style="list-style-type: none">・煙が出たり、異常なおいや音がある ・内部に水や異物が入った ・電源プラグが異常に熱い ・電源コードが傷んでいる ・本体に変形や破損した部分がある そのまま使うと火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。
-----------	--

電源コード・電源プラグについて

- 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む
- 本機の電源スイッチを切っても、内部の電源は完全に切れていないので、万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続する
- 電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやホコリがついている場合は、プラグを抜き、ゴミやホコリをとる
- 電源コードを取り扱うときは、次のことを守る
 - ・傷つけない
 - ・延長するなど加工しない
 - ・加熱しない
 - ・引っ張らない
 - ・重いものを載せない
 - ・ほぞまない
 - ・無理に曲げない
 - ・ねじらない
 - ・束ねない
- 電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜き取り扱いを誤ると、感電や発熱による火災の原因となります。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
- 火災・感電の原因となります。

- 禁止**

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は
お買い上げの販売店へご相談ください。 販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エリートレーティングサポートセンター ☎0120-28-0488 受付時間：365日 9:00～20:00 携帯電話・IP電話など 050-3786-0488（通話料：有料） FAX 03-3258-0470（通話料：有料）	●お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。 ●利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。
---	--

保証書（一体）	補修用性能部品の保有期間
●保証書は、この取扱説明書に記載されています。	●CDラジオカセットレコーダーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。	●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
●保証期間は お買い上げの日から1年間 です。	●修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。
	●修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは	持込修理品	
本書に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。	●本機は国内専用です。国外での使用に対するサービスは対応できませんので、ご了承ください。	
■保証期間中は、……………	■修理料金はのしくみ……………	
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。	修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
■保証期間が過ぎているときは、……………	技術料	故障した商品を正常に修復するための料金。
保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。	部品代	修理に使用した部品代。

便利メモ	お買い上げ日	年	月	日	お買い上げ店名	電話	()
------	--------	---	---	---	---------	----	-----

愛情点検	長年ご使用の機器の点検をぜひ！	ご使用中	故障や事故防止のため、使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none">●電源コードが傷んでいる ●煙がでる ●変なにおいがする ●その他の異常や故障がある		

注意	●長時間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜き 通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化などにより、火災の原因となることがあります。
指示	

- 電源コードは付属のもの以外を使用しない
 - 付属の電源コードを他の機器に使用しない
- 火災・感電の原因となります。

ご使用について	警告
指示	●持ち運ぶときは、アンテナをたたみ、電源プラグをコンセントから抜き
禁止	●落としたり、強い衝撃を与えて本体を破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き 取り扱いを誤ると、火災・感電・けがの原因となります。

- 分解・修理・改造はしない
 - 異物を入れない
 - 雷が鳴り出したら、アンテナ線・電源コードに触れない
 - 通気孔をふさがない
 - 壁に押しつけない（背面10cm、左右側面5cm以上の間隔をあける）
 - 押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まない
 - テーブルクロス・カーテンなどを掛けない
 - じゅうたんや布団の上に置かない
 - あお向け・横倒し・逆さまにしない
- 火災・感電・事故の原因となります。

注意	●花瓶など液体の入ったものを本機の上に置かない
禁止	●CD挿入口に手を入れない
	●円形ディスク以外は使用しない
	●CDピックアップをのぞき込まない
	●本機の上にとったり、上に重いものを置いたりしない
	●ヘッドホンの音量を上げすぎない
	●長時間、音が歪んだ状態で使わない
	けが・故障・火災などの原因となります。

設置について	警告
禁止	●次のような場所での使用、設置はしない
	・雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所
	・雨、きりなどが直接入り込む場所
	・火のそば、暖房機器のそばなどの高温になる場所
	・直射日光の当たる場所、炎天下の車内
	・ホコリの多い場所
	・調理場など油煙や湯気の当たる場所
	・振動の強い場所
	・腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所
	・極端に高温、低温、温度変化の激しい場所
	・ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所
	本機の破損・火災・感電の原因となります。

お願い	●近くに置いたテレビの画面に色ズレが生じたり、本機のラジオからテレビからの雑音が入る場合は、本機をテレビから離してご使用ください。
------------	---

故障かな？と思ったとき

症状	原因	処置方法
電源が入らない	●電源プラグが電源端子（AC IN～）からはずれている ●電源プラグが電源端子（AC IN～）の途中までしか入っていない ●電源コンセントにプラグが入っていない ●電池極性間違（乾電池でお使いの場合） ●乾電池が消耗している（乾電池でお使いの場合）	→ プラグを確実に差し込む → プラグを奥までしっかり差し込む → コンセントに確実に差し込む → 電池を正しく入れる → すべて新しい乾電池に交換する。
音がでない	●音量レベルが下がっている ●ヘッドホンが差し込まれている ●音源切り換えが合っていない	→ 音量レベルを調節する → ヘッドホンをはずす → 音源切り換えを合わせる

CDプレーヤー部		
再生がはじまらない	●CDが裏返しになっている ●CDが汚れている ●CD装着部のレンズが汚れている	→ 印刷面を上にして入れる → CDをとりかえる → 清掃する
音がとぶ	●CDに大きな傷やそりがある ●振動する場所に設置している ●CD装着部のレンズが汚れている	→ CDをとりかえる → 振動のない場所に設置する → 清掃する
再生が止まる	●乾電池で再生中に電源コードをつないだ	→ 電源コードを外し、乾電池を取り出してやり直す

テープレコーダー部		
カセットが入らない	●カセットの向きが上下逆になっている ●カセットが正しく入っていない	→ テープの見えている方を上にして入れる → カセットを正しく挿入する
テープが走行しない	●カセットの不良 ●テープが全部巻き取られている	→ カセットをとりかえる → カセットを裏表入れ替える
録音ボタンが押せない	●ツメの折れたカセットを装着している	→ カセットをとりかえる → 録音し直すときは、セロハンテープで誤消去防止穴をふさぐ
録音ボタンがロックできない	●カセットの不良	→ カセットをとりかえる
音がとぎれる、音程が狂う 消去が不完全	●ヘッド部分が汚れている ●ハイポジションやメタルテープを使っている ●乾電池が消耗している	→ 清掃する → ノーマルテープを使用する → 乾電池を交換する

ラジオ部		
雑音が多く聞きづらい	●電源雑音の影響を受けている ●モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている ●電波が弱い	→ 電源プラグを差し換えてみる → 本機を雑音源から離す → テレビを消す → アンテナを調節する

お願い	●長時間使用していると、キャビネットの一部が多少熱くなることがありますが故障ではありません。
------------	--

乾電池について	注意
指示	●乾電池を取り扱うときは、次のことを守る <ul style="list-style-type: none">・指定以外の乾電池を使わない ・極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない ・充電・加熱・分解・シュートしたり、火の中に入れない ・乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は使用しない ・水にぬらしたり、ぬれた手で触れない ・直射日光の当たる場所や火の近くなどの熱源の近くに置かない ・長時間使わないときは、本機から乾電池を取り出す 発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。器具についた場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

著作権について

- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

CDについて

- CD-R、CD-RWディスクについては、音楽収録用規格（CD-DA フォーマット）で記録された一般市販ディスクが再生できます。
- 反射率が低いディスクは情報を読み込みぬい場合があります。
- コピーコントロールCDや特殊形状など規格外のディスクは再生できません。
- CDの再生中はCDふたを開けないでください。CDを傷つけることがあります。
- CDに傷、指紋、ホコリがついていると、再生できないことがあります。一部再生できた場合でも音がかたんだり、停止することがあります。
- CD面に紙やシールを貼らないでください。偏芯したり、面振れして正しく再生できなくなります。
- CD面に汚れや傷がつかないように大切に扱ってください。必ず専用ケースに入れて保管ください。
- 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所には置かないでください。変形して再生できなくなります。
- CDを入れる前に再生面にホコリやゴミ、指紋などがついていたら、やわらかい布でふき取ってください。
- シンナーやベンジン、アルコールはCDの情報部分を劣化させ、読みだめくなるので使用しないでください。

カセットテープについて

- ノーマルテープ（TYPE1）をご使用ください。
- ハイポジション（TYPE2）やメタル（TYPE4）テープは再生できますが、その特性を活かすことはできません。また録音すると正しく録音・消去できません。エンドレステープは使用できません。
- 100分以上の長時間テープはたいへん薄く、伸びやすいため、機械に巻き込まれるおそれがありますので、使用しないでください。
- テープがたるんでいるときは、鉛筆などを使ってから使ってください。テープの巻きつきなどの原因になります。

大切な録音を消さないために

- カセットテープの後ろ側にあるツメをドライバーなどで折れば誤消去の防止になります。
- 誤ってツメを折ったり、再び録音したいときは、セロハンテープなどで誤消去防止穴をふさいでください。
- 次のような場所には保管しないでください。
 - ・ホコリの多いところ。
 - ・磁気の発生するところ。
 - ・高温や湿気の多いところ。



お手入れのしかた

お手入れのときは、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

テープヘッド部
●市販のクリーニングキット（またはクリーニングテープ）のご使用をおすすめします。
●市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、テープが触れる面を軽くふいてください。
CDピックアップ(レンズ)部
●ほこりなどは、市販のプロワーでレンズを2、3回吹き、ブラシの先でほこりを掃き出します。
●指紋などレンズに付いた汚れは、市販のレンズクリーナーを綿棒につけ、レンズの中心から外向かって、円を描くように軽くふいてください。
本体

- 柔らかい布で汚れを軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。また、キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

仕様

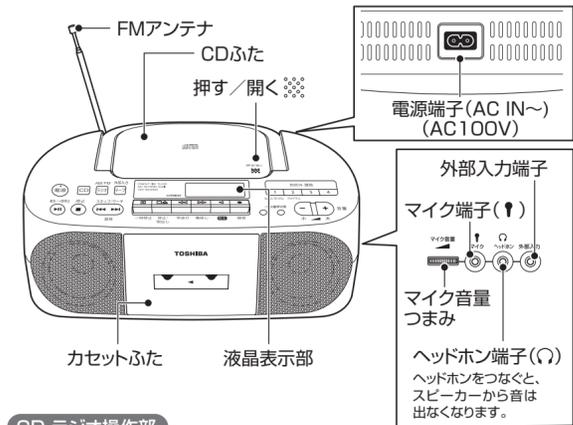
CDプレーヤー部	2チャンネルステレオ
サンプリング周波数	44.1kHz
再生可能ディスク	CD、CD-R/RW（CD-DAフォーマットで記録されたディスク）
カセットテープレコーダー部	
トラック方式	4トラック 2チャンネル
録音方式	A/Cバイアス録音
消去方式	マグネット消去
早送り・巻戻し時間	約3分（C60）
推奨テープ	ノーマルカセットC60
ラジオ部	
受信周波数（＊）	AM：531kHz～1,710kHz FM：76.0MHz～108.0MHz
共通部	
実用最大出力（＊）	1.7W＋1.7W
スピーカー（＊）	8cmコーン型 4Ω ×2
ヘッドホン出力端子	3.5φステレオミニジャック
外部入力端子	3.5φミニジャック
マイク入力端子	3.5φミニジャック
電池持続時間（＊）	TOSHIBA 単2形アルカリ乾電池使用時 ラジオ受信時：約19時間 テープ再生時：約21時間 CD再生時：約15時間
電源（＊）	AC 100V、50/60Hz DC 9V、単2形乾電池×6本（別売）
消費電力（＊）	12W
最大外形寸法（＊）	300（幅）×115（高さ）×212（奥行）mm（ボタン・FMアンテナ部の突起・ハンドル含まず）
質量（＊）	約1.8kg（乾電池含まず）
付属品	電源コード、リモコン（TY-CDH7のみ）、取扱説明書（保証書付）

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

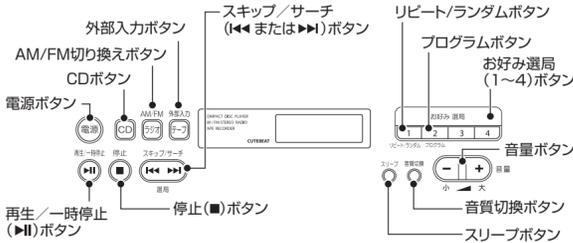
（＊）印は（社）電子情報技術産業協会の定める「JEITA規格」による測定値。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。 This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

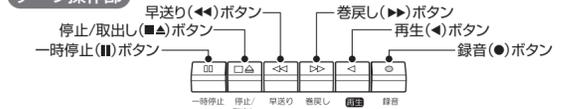
各部のなまえ



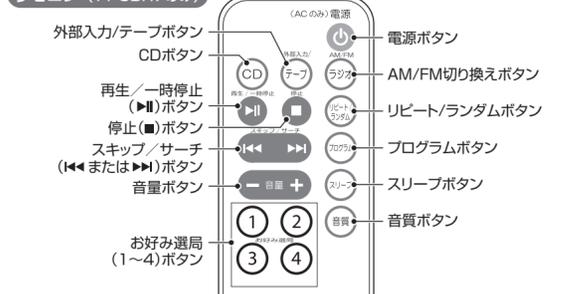
CD・ラジオ操作部



テープ操作部



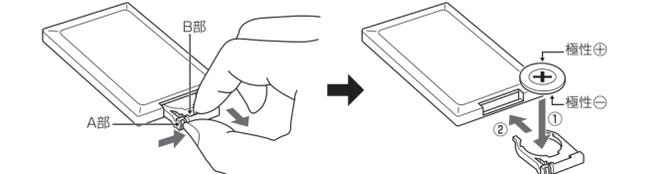
リモコン (TY-CDH7のみ)



リモコンの準備と使いかた (TY-CDH7のみ)

電池の入れかた

購入後初めてリモコンをご使用の場合は、電池ケース部の絶縁シート(透明)を引き抜いてください。取り付け済(付属)の電池はおためし用です。
リチウム電池 CR2025 を図のように入れ、電池ケースを開めます。



電池ケースのA部を親指のツメで押しながら、人差し指のツメをB部にかけて引き出す。
電池ケースの古いリチウム電池を取りはずし、新しいリチウム電池 (CR2025) を図のようにはめ込み、カチッと音がするまで押し込む。

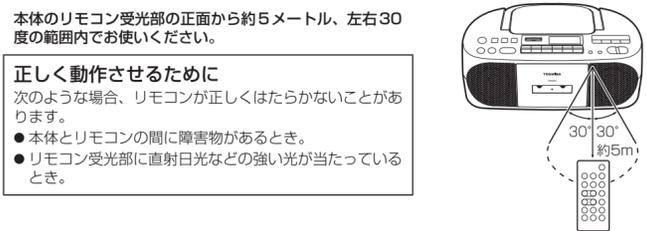
- ご注意**
- 指定以外の電池を使用しないでください。
 - 電池の極性 (⊕と⊖) は正しく入れてください。

使いかた

本体のリモコン受光部の正面から約5メートル、左右30度の範囲内でお使いください。

正しく動作させるために

- 次のような場合、リモコンが正しくはたらかないことがあります。
- 本体とリモコンの間に障害物があるとき。
 - リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっているとき。



電源について

家庭用電源 (AC100V) で使うとき

- 1 付属の電源コードの供給プラグを背面の電源端子 (AC IN~) の奥までしっかり差し込む
※電源供給プラグが途中までしか入っていないと、プラグが抜けやすくなったり、電源が入らないことがありますので、プラグは必ず奥までしっかり差し込んでください。

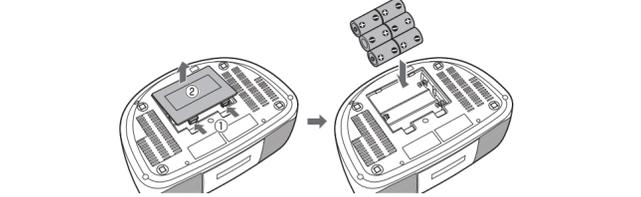
- 2 電源プラグを家庭用電源 (AC100V) のコンセントへしっかり差し込む

お願い

- 電源プラグを抜き差しするときは、電源を切ってから行ってください。
- 電源を切った状態でも、電源プラグを電源コンセントに差し込んだままだと、わずかですが電力が消費されます。消費電力を完全になくすためには、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

乾電池 (別売り) で使うとき

電池ふたのツメ (2カ所) を押しながら (1) 持ち上げて開け (2)、別売の単2形乾電池6本を図のように入れてふたを閉めます。



- 極性 (⊕と⊖) を正しく入れてください。
- 電源コードが電源端子 (AC IN~) に接続されていると、家庭用電源が優先して働きます。乾電池で使うときは、電源コードを外してください。
- 長期間 (1カ月以上) 使用しない場合や家庭用電源で使用する場合は、乾電池を取り出しておいてください。

乾電池の交換時期は…

- 乾電池が消耗してくると、音が小さくなる、音がひずむ、テープ速度が遅くなる、CDやテープが正常に動作しない、などの現象が生じます。

お願い

- 近くに置いたテレビの画面に色ズレが生じたり、本機のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、本機をテレビから離してご使用ください。

共通操作について

ボタンの押しかたについて

- 押す…短く押して放すことです。(2秒未満) ●長押しする…長く押し続けることです。(2秒以上)

電源を入れる	<p>電源 を押す</p> <p>電源が入ります。初めて電源を入れると、液晶表示部に“CD”と“- - - -”が表示され、“- - - -”が点滅します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2回目からは、最後に使ったモード (CD / AM / FM / TAPE / LINE) が表示されます。最後に使ったモードがAMまたはFMの場合は、最後に受信した放送局を受信します。
音量を調節する	<p>音量 を押す</p> <p>音量は00から31まで調節できます。</p>
低音を強調する	<p>低音 を押す</p> <ul style="list-style-type: none"> ●押すごとに、低音強調が入/切します。ミニプラグ付のステレオヘッドホン (3.5φ別売) を側面のヘッドホン端子 () に接続する ●ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出なくなります。マイク (別売) を側面のマイク端子に接続する ●お好みの音源を再生しながら、カラオケを楽しむことができます。 ●マイク音量つまみを回して、マイクの音量を調節できます。
ヘッドホンで聴く	
カラオケを楽しむ	
スリープ機能を使う	<p>スリープ を押す</p> <p>設定した時間がたつと電源が切れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●押すごとに、設定時間が、120分→90分→60分→30分→15分→OFF→120分…と切り換わります。 ●スリープ設定中は、液晶表示の“SLEEP”が点灯します。 ●スリープ設定中に 電源 を押すと、電源が切れるまでの残り時間が確認できます。 <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ●テープモードでスリープ機能を使用する場合は、テープの片道再生時間より長いスリープ時間を設定してください (例：90分テープ (片道45分) の場合は、スリープ時間は60分に設定してください)。
電源を切る	<p>動作中に 電源 を押す</p> <ul style="list-style-type: none"> ●液晶表示が消え、電源が切れます。

CDを聴く

- 1 **電源** を押す
電源が入ります。
- 2 **CD** を押してCDモードにする
“noCd”が表示されます。
●CDを装着したままにしておいた場合、総曲数と総演奏時間が表示されます。
- 3 **電源** を押してCDふたを開け、印刷面を上にしてCDを入れる
- 4 CDふたを閉める
カチッと音がするまで押して、確実に閉めてください。
“- - - -”が点滅しCDの読み込みが始まり、約5秒後に総曲数と総演奏時間が表示されます。
●CDが読み込めない場合は、“Er”と表示されます。本紙表面の「CDについて」をご参照ください。
- 5 **電源** を押す
▶が表示され、曲番1から再生が始まり、経過時間が表示されます。

一時停止する	再生中に 一時停止 を押す ●もう一度押すと、再生が始まります。
停止する	停止 を押す CDを取り出すには：CDの回転が止まってから 電源 を押してください。
早送り／早戻しする	再生中に 早送り を長押しする ● 早送り を押しつづけると早送りになります。 ● 早戻し を押しつづけると早戻しになります。
頭出しをする	再生中・一時停止中・停止中に 頭出し を押す ● 頭出し を押すごとに、1曲ずつ次の曲へ進みます。 ● 頭出し を押すと再生中の曲の頭に戻り、2回押すと前の曲へ戻ります。

プログラム (曲順) の設定

お好みの曲を20曲まで選び、設定した曲順に再生することができます。

- 1 CD停止中に **プログラム** を押す
液晶表示部の“PRG”とプログラム番号“P01”が点滅します。
- 2 “PRG”が点滅している間に、**プログラム** を押してプログラム設定をしたい曲番を選ぶ
- 3 **プログラム** を押し、決定する
“P01”が登録され、次のプログラム番号“P02”が点滅します。
- 4 引き続きプログラムを設定する場合は、手順2~3を繰り返す
最大20曲までプログラム設定できます。20曲を登録すると“FULL”と表示されます。
- 5 **プログラム** を押す
P01にプログラム設定した曲から再生が始まります。
● **プログラム** を押すごとに次のプログラムに設定した曲の再生が始まり、曲番と再生経過時間が表示されます。

プログラム予約した曲番の確認をする	CD停止中に プログラム を押す ● プログラム を押すたびにプログラム予約した曲番が表示されます。
プログラム設定を取り消す	他の機能モード (ラジオ・テープ) に切り替える、またはCDふたを開ける ●プログラムが取り消されます。

リピート再生

停止中や再生中に **リピート** ボタンを押すたびに、次のように切り替わります。
1 曲リピート再生 ⇒ 全曲リピート再生 ⇒ ランダム再生 ⇒ 解除 ⇒ 1 曲リピート再生…

「REPEAT」(点滅) 1曲リピート再生	リピート を押す	REPEAT
「REPEAT」(点灯) 全曲リピート再生	リピート を2回押す	REPEAT
「RND」ランダム再生	ランダム を3回押す	RND
リピート再生／ランダム再生の取消	リピート再生中に表示が消えるまで リピート を押す	

- プログラム再生の時でもリピート (1曲リピートと全曲リピート) 再生は使えます。

ラジオを聴く

- 1 **電源** を押す
電源が入ります。
- 2 **ラジオ** を押してラジオモードにする
FM放送またはAM放送を選びます。
- 3 **ラジオ** を押して放送局を選ぶ
長押ししてボタンから指を離すと、最初に受信した周波数で自動的に停止します (自動受信)。再度ボタンを長押しすると、次の電波の強い放送局を探し、自動受信します。自動受信中の受信ノイズ (雑音) で停止したときはもう一度長押しします。

よりよい受信をするために

FM放送 アンテナを伸ばし、最も良く聞こえる方向に向けてください。	AM放送 本体の向きを変えてください。
--------------------------------------	------------------------

FMステレオ放送の受信について

- ステレオ放送を受信すると“ST”が表示されます。受信状態が悪化すると自動的にノイズの少ないモノラルに切り換わり、“ST”表示は消えます。
- AMステレオ放送には対応していません。

お好み選局機能

お好みの放送局をFM放送・AM放送ともに4局まで登録できます。

- 1 **ラジオ** を押してFMまたはAM放送を選び、**ラジオ** を押してお好みの放送局を選ぶ
- 2 **ラジオ** の1~4のいずれかのボタンを選び、3秒以上長押しする
液晶表示部の“PRG”と選択した番号が点滅して、放送局が登録されます。

- 3 他の放送局を登録するときは、手順の1、2を繰り返す

プリセットした放送局を選ぶ | ラジオを受信しているとき、**1**、**2**、**3** または **4** を押す

外部音声機器を聴く

- 1 **電源** を押す
電源が入ります。
- 2 外部音声機器の音声出力端子 (イヤホン端子、ヘッドホン端子、ライン出力端子) を本機の外部入力端子へ接続する (接続コードは別売)
- 3 **外部** を押して外部入力モードにする
液晶表示部に“LINE”が表示されます。
- 4 本機に接続した音声機器の音声を再生する
本機のスピーカーから音声が流れます。

お願い

- 携帯電話やデジタルオーディオプレーヤーと接続するコードは、3.5φステレオミニプラグ付接続コード (別売) を使用してください。

テープを聴く

- 1 **電源** を押す
電源が入ります。
- 2 **テープ** を押してテープモードにする
液晶表示部に“TAPE”が表示されます。
- 3 **テープ** を押して、カセットふたを開けカセットを入れる
再生する面を手前にして、テープが見える方を上にして入れます。
- 4 カセットふたを閉める
- 5 **テープ** を押す
再生が始まります。

お知らせ

- 再生中にテープが全部巻き取られると、自動的に停止します。

一時停止する	再生中に 一時停止 を押す ●もう一度押すと、再生が始まります。	停止する 電源 を押す ●もう一度押すと、カセットふたが開きます。
早送り／巻戻しする	停止中に 早送り または 巻戻し を押す ●止めたところで 早送り を押します。 ●テープを巻き終えたら 早送り を押してください。 早送り を押さないで早送りまたは巻戻しが解除されません。	

お願い

- 早送りまたは巻戻し中に **早送り** や **巻戻し** を押さないでください。テープの巻きつきの原因になります。
- 早送りまたは巻戻しでテープを巻き終えたら必ず **早送り** を押して解除してください。
- テープを再生・録音中は電源を切らないでください。電源を切る前に、**電源** でテープ再生・録音を停止して下さい。

テープに録音する

- 1 **電源** を押す
電源が入ります。
- 2 **テープ** を押して、カセットふたを開けカセットを入れる
録音する面を手前に、テープが見える方を上にして入れます。
- 3 カセットふたを閉める
録音を始めるテープ位置で停止させておきます。
- 4 ●CDを録音するとき： **CD** を押してCDモードにして、CDを入れる
CDが読み込まれ、総曲数と総演奏時間が表示されます。
・総曲数と総演奏時間が表示されてから **CD** を押してください。
・希望の曲から録音したいときは、曲番を選びます。
・プログラム録音したい場合は、先に **プログラム** を押してプログラムの設定をしてください。
CDシンクロ録音について：
・CD停止状態中に **CD** を押すと、1曲目から自動再生し、録音されます。
・CD再生中に **CD** を押すと、その曲の先頭に戻り再生し、録音されます。
・CD一時停止中に **CD** を押すと、そこから録音が始まります。

- ラジオを録音するとき： **ラジオ** を押してラジオモードにして、放送を受信する
- 外部機器を録音するとき： **外部** を押して外部入力モードにして、外部機器を再生する
- マイクで録音するとき： **マイク** を押して外部入力モードにする

- 5 **電源** を深く押す
電源 も同時にさかり、録音が始まります。

お知らせ

- AMラジオを録音中にピー音 (「ピー」の音) が聞こえる場合、**電源** を押してください。受信状態により、ピー音の大きさが変わります。

録音の一時停止	録音中に 一時停止 を押す ●もう一度押すと、再び録音が始まります。	録音を止める 電源 を押す ●もう一度押すと、カセットふたが開きます。
---------	--	---

東芝エルイートレーディング株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野2-21-10 (東芝上野ビル)